

氏名	吉村 基宜	部署	看護学科	職名	助教
研究分野	基礎看護学				
学位	修士(看護学)				
学歴	2006年埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科 2015年埼玉県立大学大学院看護学研究科博士前期課程				
経歴	2016年埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科助教				
所属学会(役職)	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会、日本保健医療福祉連携教育学会、 日本障がい者スポーツ健康科学看護学会				

### 【2018年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1) 著作					
1	該当なし				
2					
3					
(2) 論文					
1	保健医療福祉系大学における専門職連携教育(IPE)の評価尺度開発	共著	保健医療福祉科学 Vol.8;P.1-9	吉村基宜、田口孝行、常盤文枝	2019.3.31
2	障がい者スポーツ大会における看護師の役割について	共著	日本障がい者スポーツ健康科学看護学会 学術誌	吉村基宜、田中広美、鈴木康美、徳本弘子	2019.6 掲載予定
3					
(3) 学会発表					
1	障がい者スポーツにおける医療活動に参加した看護職に関する報告	共著	日本障がい者スポーツ健康科学看護学会 第1回学術集会、さいたま市	吉村基宜、田中広美、鈴木康美、徳本弘子	2018.12.24
2					
3					
(4) その他					
1	該当なし				
2					
3					
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称	研究名、研究代表者・研究分担者の別		研究期間	
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(若手研究B)	保健医療福祉系大学における専門職連携教育(IPE)の評価尺度開発(研究代表者)		2017.4~2019.3	
2	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)	専門職連携教育(IPE)評価尺度の因子構造および信頼性・妥当性の検討(研究代表者)		2019.4~2021.3	
3	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)	小グループ学習法における総括的評価に資するピア評価の確立(研究分担者)		2019.4~2022.3	
3. 教育業績					
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
(1) 講義					
1	看護方法Ⅱ	2018.4	「活動と休息」の単元にて、一部講義(ボディメカニクス、体位変換、移乗・移送)。		
2					
3					

(2) 演習			
1	看護方法Ⅰ	2018.11～2019. 2	科目担当者として、演習における指導や物品準備・片付け等の運営補助を行った。 1年次生を対象としており、基本技術の習得を目的としているため分かりやすい指導に努めた。
2	看護方法Ⅱ	2018.4～2018.7	科目担当者として、演習における指導や物品準備・片付け等の運営補助を行った。 安全・安楽・自立の視点を基に、日常生活援助技術について指導をした。
3	看護方法Ⅲ	2018.4～2018.6	科目担当者として、演習における指導や物品準備・片付け等の運営補助を行った。 診断治療の援助技術として、原理・原則を意識できるよう指導をした。
4	看護過程論	2018.11～2019. 1	科目担当者として、演習における指導を行った。 看護を展開する上で、科学的に捉えることを意識するよう関わった。
(3) 実習			
1	ヒューマンケア体験実習	2018.9	1年次生を対象に、実習指導および振り返りを行った。保健・医療・福祉の現場を直接体験しながら、医療職者としての態度・姿勢を学び、コミュニケーション技術獲得への支援を行った。
2	総合実習	2018.5～2018.8	4年次生を対象に、事前学習(学内実習)・事後学習(学習成果発表会)を含めた実習指導を行った。 これまでの集大成として、既習の知識・技術を活用しながら、自己の課題を達成できるよう関わった。 また、今年度より「チームナーシング」という新たな実習形態を導入し、看護チームにおける自己の役割と機能について学べるよう関わった。
3	基礎看護学実習Ⅰ	2019.2	1年次生を対象に、実習指導を行った。 初めての看護実習でもあるため、安全に留意しながら看護学生としての実習に臨む姿勢を意識できるように関わった。
4	基礎看護学実習Ⅱ	2018.10,	2年次生を対象に、実習指導を行った。 初めて患者を受け持ち、看護を展開していくため安全に留意して指導を行った。また、対象を全人的にとらえ、個別性のある看護を実施することを意識づけた。 また、領域内での科目担当として科目責任者の実習運営のサポートを行い、実習要項や記録用紙、評価票の見直し・修正なども行った。
(4) 論文指導			
1	学部生卒業研究	2018.4～2018.12	所属領域の教授の下、教授担当の学部生に対し、アドバイスや指導を行った。
2			
3			
(5) その他			
1	該当なし		
2			
3			
4. 社会貢献活動			
(1) 講演会、研修会等の講師			
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ
1	該当なし		
2			
3			
(2) 国、自治体、財団法人等における委員等			
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期
1	該当なし		
2			
3			

(3)ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
2			
3			
5. 学内運営(委員会委員)			
1	実習計画調整会 補佐		
2	男女共同参画推進委員会 委員		
3	埼玉県立大学20周年記念事業 広報部会 委員		
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の保有状況			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
	該当なし		